

News Release

報道関係各位

2026年6月26日
株式会社バイキューブ

バイキューブ、三菱UFJ信託銀行 入社式の 配信・映像制作をOneイベントで支援 配信と映像制作のワンストップ提供により、 リソースの集中と動画のクオリティ向上を両立

株式会社バイキューブ（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：水谷 潤、以下 バイキューブ）は、三菱UFJ信託銀行株式会社（本社：東京都千代田区、取締役社長：窪田 博、以下 三菱UFJ信託銀行）が、2026年4月1日に開催した新入社員287名を迎える入社式の運営において、昨年まで内製していた映像制作を今年からバイキューブに外注し、リピート委託していた配信業務と併せて一括委託することで、配信と映像制作のワンストップ運営を実現したことをお知らせいたします。

三菱UFJ信託銀行の入社式は、新入社員と一部の役員・事務局が対面で参加する会場の様子を全社員へ配信し、全社一体でのウェルカム感を演出する形式で開催されています。近年は、クイズや先輩からのメッセージなどの動画コンテンツが企画の核を担っており、その進化と事務局による企画・演出への集中を両立するため、配信業務で継続委託していたバイキューブに、内製していた映像制作までを一括委託。配信と映像制作のワンストップ体制を構築することで、企画クオリティと運営品質の両立を実現しました。



三菱UFJ信託銀行

■導入前の課題と利用経緯について

三菱UFJ信託銀行の入社式における動画コンテンツは、一昨年から導入され、昨年まで映像制作は社内で行っていました。今年は、各事業の現場社員によるチーム対抗のクイズ動画に加え、来年迎える創立100周年を見据えて先輩社員から新入社員へ想いを伝えるメッセージ動画を組み込むなど、複数本立ての構成へと進化させる計画があり、内製体制では以下の課題に直面していました。

- **映像コンテンツの規模拡大・進化に向けた制作体制の見直しが必要**
当日の進行は、クイズの問題提示と回答シーンを切り分けて再生するなど、細かな停止・再生操作を伴います。映像制作と当日運営をシームレスに連携させ、企画意図を最大限に表現するためには、専門ノウハウを持つパートナーとの一体運用が望ましいと考えていました。
- **事務局リソースを当日進行・全体演出に集中させたい**
入社式当日は、新入社員287名の動線設計、登壇する役員との連携、全社員への配信運営との接続など、事務局が判断・調整すべき事項が多岐にわたります。式典全体のクオリティを高めるには、映像制作工程に割いていたリソースを、より本質的な領域に投じる必要がありました。

■採用のポイント

毎年の入社式配信を受託していたブイキューブから、前年の振り返りの場で「映像制作までワンストップで対応可能」との提案を行い、今年から映像制作と配信を一括受託する体制へ転換しました。決め手となったポイントは以下のとおりです。

1. 信頼する配信パートナーへの一括委託による安心感

配信業務でのリピート委託を通じて信頼関係が構築されていたブイキューブに映像制作も任せることで、運営全体の精度向上が期待できました。

2. 当日運営チームが映像制作も担うことによる、進行と映像のシームレスな連携

クイズ動画の停止・再生など細かな進行操作に合わせた編集が可能となり、納品後も臨機応変な調整対応が可能となりました。

3. 「手作り感」を残した編集トーン

社内向けイベントである以上、スタイリッシュに作り込みすぎない「温かみ」を残すことを編集方針として共有。対面参加できない全社員からのウェルカム感を新入社員に届ける構成を実現しました。

■導入による主な効果

- **事務局リソースの創出と運営品質の向上**
内製していた映像制作工程を全面的に委託したことで、事務局は当日の進行や全体演出の検討により多くの時間を割けるようになり、余裕を持って新入社員を迎え入れる体制を整えることができました。配信と映像制作のワンストップ化により、当日の進行と映像のすり合わせも円滑に進みました。
- **「手作り感」を残しつつ映像クオリティが向上**
プロの編集が入ることで動画としてのクオリティは大きく向上した一方、リクエスト通り「温かみ」のあるトーンが保たれ、社内イベントの空気感を損なわないアウトプットとなりました。撮影に協力した社員からも、仕上がりに対する高い評価の声が寄せられました。
- **新入社員の好評と次年度に向けた企画進化への足がかり**
新入社員からは「楽しかった」「現場の雰囲気が知れて良かった」「入社式がこのようなコミュニケーションイベントになるとは思わなかった」など、想定を超える好評を得ました。また、映像制作の委託体制が確立されたことで、来年以降はクイズ以外の動画コンテンツへの進化など、企画そのものの深化に時間を投じることが可能となり、入社式のさらなる進化への基盤が築かれました。

■三菱UFJ信託銀行株式会社 担当者からのコメント

「一昨年から動画コンテンツを取り入れており、現場社員からのウェルカム感を新入社員に届ける重要なコンテンツとして定着していました。さらに表現の幅を広げ、クオリティを一段引き上げたいと考えていたタイミングで、配信業務でお世話になっていたバイキューブさんから『映像制作までワンストップで対応できます』とお声掛けいただき、委託を決めました。

決め手は、当日の運営に入っていただくチームに編集もお願いできるという安心感です。今回はクイズ動画の停止・再生など細かい進行操作が必要だったため、納品されたものを当日合わせるのではなく、運営面まで踏まえた上で編集していただけるのは非常に心強かったです。

仕上がりについても、『社内のイベントなのでスタイリッシュすぎず、手作り感や温かみを残してほしい』というリクエストを汲み取っていただき、納得のいくトーンに仕上がりました。撮影に協力してくれた社員からも、仕上がりに対する高い評価の声がありました。

今回、映像制作を任せられたおかげで、当日進行の準備や全体演出の検討により集中することができました。来年以降は、クイズに限らない動画コンテンツへの進化など、企画そのものを深めることに時間を使えそうです。引き続きご相談させていただきたいと思っています。」

バイキューブでは、今後もお客様のコミュニケーションDX実現に向けて、様々なコミュニケーションサービスを提供してまいります。

三菱UFJ信託銀行株式会社の導入事例の詳細（導入前の課題や導入効果など）はこちらをご覧ください。

<https://jp.vcube.com/eventdx/case/eventdx164.html>

One イベントの詳細はこちらをご覧ください。

<https://jp.vcube.com/eventdx>

【バイキューブとは <https://jp.vcube.com/>】

バイキューブはビジュアルコミュニケーションのリーディングカンパニーとして、1998年の創業以来、あらゆるシーンに対応する、時代にフィットしたコミュニケーションサービスを提供してきました。「Evenな社会の実現」というミッションのもと、「コミュニケーションを科学し、未来を共創する」というビジョンを目指し、少子高齢化社会、長時間労働、教育や医療格差などの社会課題を解決し、すべての人が機会を平等に得られる社会の実現へ貢献してまいります。

■報道関係のお問い合わせ先：バイキューブ 広報事務局（ブラップジャパン 内）

E-mail : vcube_release@prap.co.jp